

水道だより

2021年6月
No.54

特集 長岡市水道事業経営戦略



今日も上手に
洗えたよ

6/1~6/7は
水道週間

令和3年度の
スローガンは「生活も ウイルス予防も 蛇口から」
今までも、そしてコロナ禍の現在も、水道は私たちの生活には欠かせないものです。
水道週間を通して、水道の大切さについて考えてみましょう。

新型コロナウイルス
感染予防の基本は **手洗い** です

30秒程度かけて、**水道水**(流水)と石けんで丁寧に洗いましょう。
指先、指の間、手首、手のしわ等に汚れが残りますので、特に念入りに洗うことが重要です。



マスク着用時の
脱水症状予防には **水分補給** を

マスクを着けると皮膚からの熱が逃げにくくなるなど、熱中症のリスクが高まります。
のどが渴いていなくても、1日あたり 1.2L(ℓ)を目安に、こまめに水分補給をしましょう。

1.2L(ℓ) = コップ約6杯

(環境省、厚生労働省ホームページより)

ウイルス
対策も
忘れずに



時間・場所を
問わずに安心手続き

インターネット
スマートフォンからの手続きが便利です

●水道の使用開始・中止の申込み

インターネットからの申込み方法

- ① 長岡市 水道 検索
- ② 水道をつかうとき・やめるとき を選ぶ。
- ③ 電子申請サービス で必要事項を入力する。



※長岡市ホームページからも検索ができます。
※お申込み内容によっては、後日電話で確認させていただく場合があります。

電話でのお申込みは、
業務課検針係 (☎0258-35-1618) へ

●水道・下水道料金のスマートフォン決済

ご利用可能なアプリ



ご利用方法

詳しくは、長岡市ホームページ「スマートフォン決済によるお支払い」をご覧ください。



お問合せは、
業務課料金係 (☎0258-35-1619) へ

長岡市の水道水は、
厳しい水質基準をクリアした
安全な水です!

水質検査結果は、長岡市ホームページで公表しています。また過去の検査結果は、水質年報として水道局やアオーレ長岡情報ラウンジ、図書館でご覧いただけます。

長岡市 水質検査の結果 検索

新型コロナウイルス
支援を継続中

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少するなどの理由で、一時的に水道・下水道料金のお支払いが困難な場合は、業務課料金係へご相談ください。

災害に備えて ~家庭でできる水の備蓄~

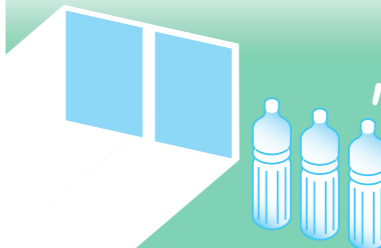
目安は
「1人1日3L(ℓ)を3日分」

水道局では、災害の発生に備えて水道管の耐震化や防災訓練などに取り組んでいますが、災害で断水した場合、給水の再開までに数日かかることがあります。
そのため、日ごろからご家庭で市販のペットボトル水などを備蓄しておきましょう。

① 日常生活を送るうえで必要な飲料水は、「1人当り1日3L(ℓ)」が目安です。各家庭において3日分の飲料水を備蓄しましょう。

3リットル × 家族の人数 × 3日分

② 備蓄した飲料水は直射日光を避け、暗くて涼しい所で保管してください。



③ 水道水を保存する場合は、じゃ口からの水をそのままペットボトルの口元まで入れてしっかり密封してください。
なお、**3日を経過した水は飲まないで**、洗濯や草木への水やりなどに使用してください。



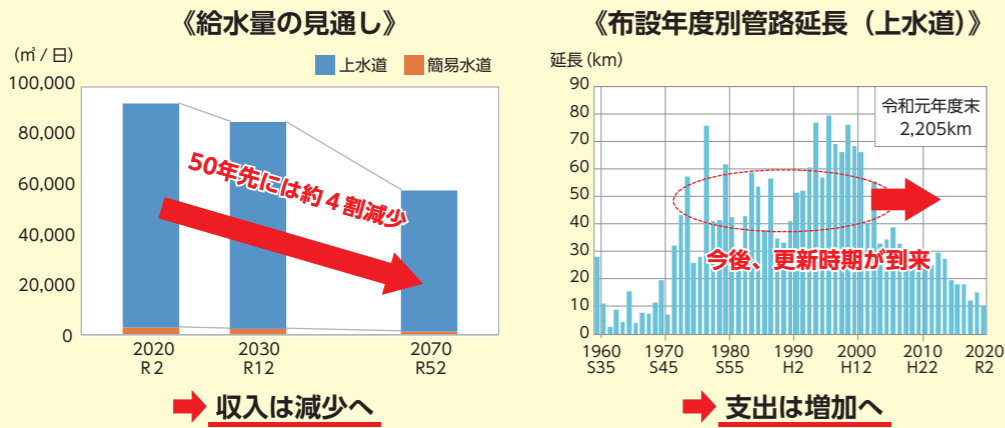
「長岡市水道事業経営戦略(令和3年度～令和12年度)」を策定しました!

将来にわたり健全な経営を維持していくために、今後50年間を見据えた中長期的な水道事業の基本計画として「戦略的取組み」及び「投資・財源の見通し」からなる経営戦略を策定しました。

“安全な命の水を安定して供給し、時代の変化に合わせ経営を継続できる水道”を目指します。

将来的に経営は厳しくなっていく見通しです。

近年、人口減少などにより、給水量や収入が減少する中で、今後見込まれる多額の更新費用(施設や管路)を賄っていく必要があります。



このままだと水道を維持していくのが難しくなるね!



経営戦略の概要紹介

基本理念 安全でおいしい水を長岡の未来へつなぐ水道 ～ 当たり前の水道を いつまでも「あたりまえに」～

将来を見据えた重点的な取組み

- ① 効率的な水運用に向けて、妙見浄水場を核に栃尾及び越路浄水場を加えた3浄水場への再編を進めます。
- ② 妙見浄水場給水区域の「骨格送配水幹線網」を高水準な維持管理で保全します。

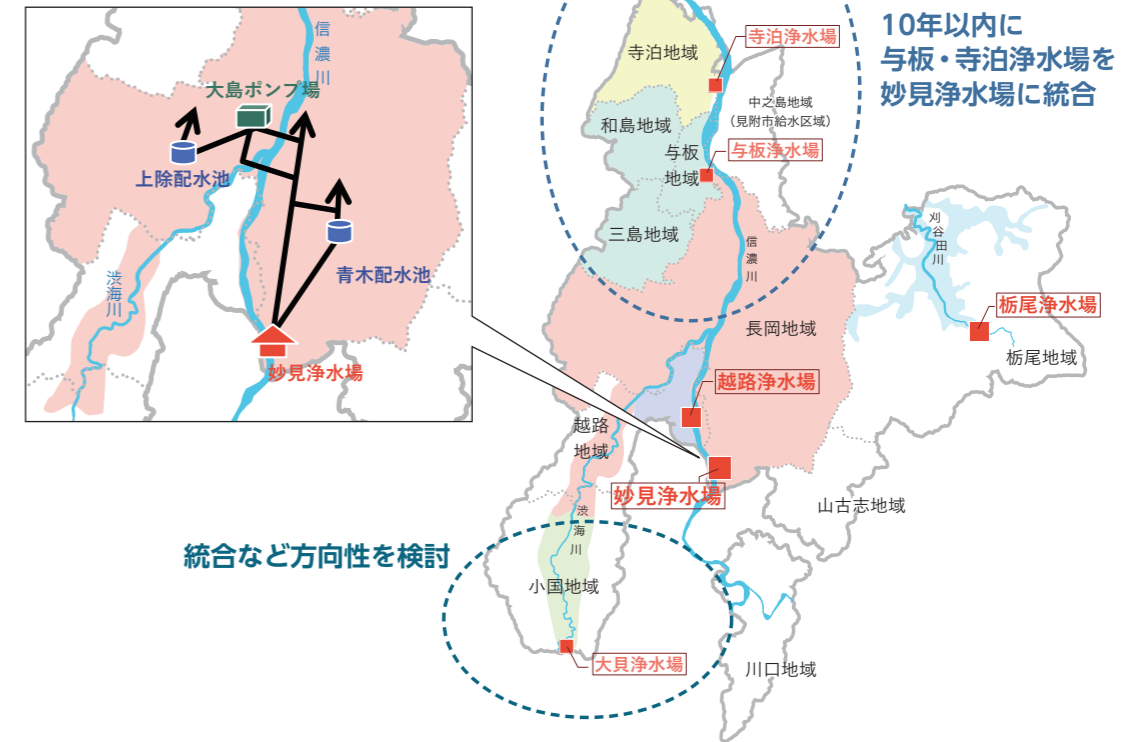
「あたりまえ」の水道を守り、次世代に引き継いでいこう!



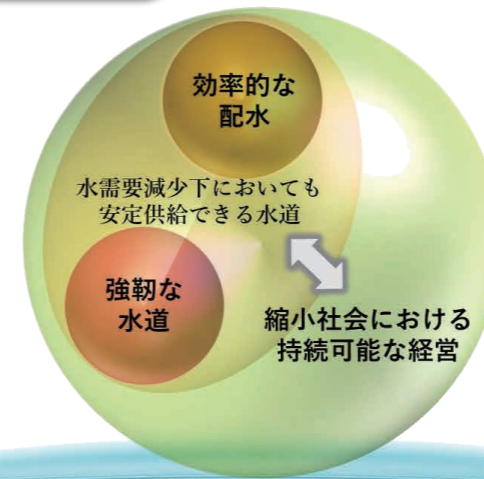
選択と集中がキーワード!



《骨格送配水幹線網》



基本方針



“水需要減少下においても安定供給できる水道”の実現のため、「効率的な配水(効率)」及び「強靱な水道(強靱)」を事業的視点での基本方針とします。

また、経営基盤の強化のため、「縮小社会における持続可能な経営(持続)」を経営的視点での基本方針とします。

水道事業の基本として今後も水質の維持やおいしい水の供給に取り組みます。

安全でおいしい水の供給

今後10年間における主な取組み

効率的な配水

- 与板浄水場及び寺泊浄水場を廃止し、妙見浄水場へ統合します。
- 妙見浄水場などの骨格送配水幹線施設については、長寿命化計画を策定します。
- 施設等については、定期的な点検や調査により適切に修繕等を行い、長寿命化に努めます。

強靱な水道

- 骨格送配水幹線施設を対象とした耐震化計画を策定し、耐震化を進めます。
- 災害時等に、水道水を相互に融通できる連絡管の整備に向け、近隣事業者との協議を進めます。
- 基幹管路や重要給水施設(病院など)への管路は、優先的に更新を進めます。

縮小社会における持続可能な経営

- 施設の再編やダウンサイジング(規模縮小)等により、資産のスリム化を図ります。
- アセットマネジメント(資産管理)等や将来の事業環境を踏まえて、適正な料金の水準や体系について検討します。
- ホームページの充実を図り、財務状況等について、広報活動に努めます。

経営戦略の詳細は、長岡市ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

長岡市水道事業経営戦略 検索